



学校だより

まきのき

H30. 11. 6 No. 8

発行：長与町立長与小学校

校長 松尾 克久

編集：副校長 田川 定司

仲間のつながりを深めよう！～友達の思いに気づける人になろう～

朝夕と日中の寒暖の差が大きく体調管理が難しい今日この頃ですが、子供たちは元気よく友達と遊んだり、勉強したり、毎日の学校生活を楽しんでいます。

1月の植樹式で植えた銀杏の木もしっかりと根をはり、葉っぱも色づき始めました。日本の四季の素晴らしさを改めて感じることでできる紅葉の季節がやってきました。

この時期になると「秋深き隣は何をする人ぞ」という芭蕉の俳句が頭に浮かびます。この句は、芭蕉が病気の為に俳句会に欠席することになった時、発句（最初に出す俳句）として創作したといわれています。『秋が深くなり、病気で床に伏せて静かにしていると、自然と隣の人々の生活の音が聞こえ、隣の人は何をしている人だろうなどと想像してしまう』というような意味です。

江戸時代と現在では住宅構造の違いや様々な騒音があるので隣の人々の生活の音が聞こえないかもしれません。他人のプライバシーを侵害することは許されませんが、同じ地域に住む隣人として、同じ学校で学ぶ仲間として、隣にいる人の思いや生活を気にかけることは大切なことです。思いやりや助け合いの心が培われる源です。

時には、何気ない言動が友達を傷つけたり悲しませたりしているかもしれません。友達の思いに気づける人になってほしいです。秋の深まりとともにクラスの仲間とのつながりを深め、誰にとっても居心地のいい学校になるよう笑顔いっぱい元気いっぱいで楽しい学校生活を送れるよう指導していきます。

まきの木の植樹式

長年、長与小学校のシンボルとして親まれてきたまきの木（マッキー）を次世代につなげていくために、10月4日（木）に植樹式を開催しました。植樹式には、全校児童をはじめ、長与町長様や地域代表の皆様が御参加いただきました。まきの木のよう、子供たちが健やかにたくましく育つと共に、子供たちに長与小学校の伝統を継承する心や愛校心が育つことを願っています。



1年4組の学級担任について

1年4組の担任をしております 宮田和子教諭が、このたび家族の介護のため、長期に渡り学校を休むこととなりました。つきましては、山本徳主幹教諭が、1年4組の担任として子供たちの指導にあたります。また代替として、大谷晶久講師が、本日着任し、1年4組や5年生の専科指導にあたります。

実りの秋を迎え、学習に集中して取り組む時期での変更となり、保護者の皆様には、何かと御心配・御迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願ひします。